

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 29 日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県 裾野市 須山字平垣1220-19

氏 名 株式会社 不二家 富士裾野工場

工場長 海老名 圭介

電話番号 055-998-1800

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

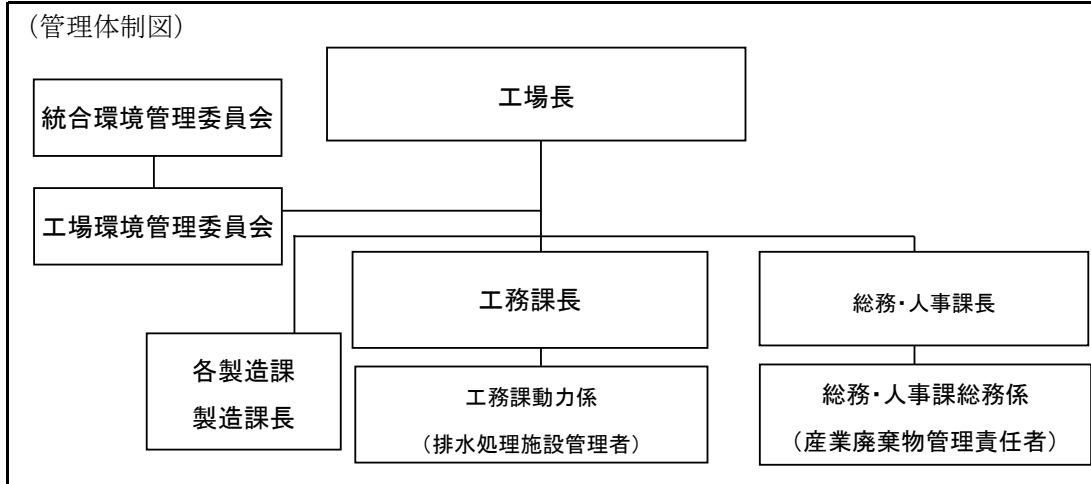
事業場の名称	株式会社 不二家 富士裾野工場
事業場の所在地	静岡県裾野市須山字平垣1220-19
計画期間	令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	101億2748万円（製造品出荷額）
③ 従業員数	298人（正社員165名、その他の従業員133人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	菓子製造 → 廃棄物発生 → 処理委託 ※委託内容：動植物性残さ（飼料化、焼却） 廃油（中和） 廃プラスチック類（固形燃料化、埋立） ガラス・陶磁器屑（焙焼、埋立） 金属屑（再資源化） 排水処理 → 汚泥発生 → 脱水 → 処理委託 ※委託内容：汚泥（肥料化）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、動植物性残渣、廃プラスチック、金属くず、ガラス、陶磁器はそれぞれに分別、保管を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1895.2 t	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1890.0 t	—
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量（t）	2048	581	77	50	1.8
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・設備改善による工程ロス削減。ライントラブル防止対策の実施。日々のロス発生状況を把握し、発生要因分析を行い、ロス削減に取り組んだ。定期的な機械教育の機会を設け従業員の力量向上をはかり、トラブル予防対策実施やトラブルへの早急な対応がロス削減に繋がった。（動植物性残渣、廃プラスチック類） ・生地の還元を行った。（動植物性残渣） 					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	排出量（t）	2000	580	70	48	1.6
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・製造課を中心にロス削減プロジェクトを立ち上げて削減に向けて取り組みを進める。 ・汚泥発生量の安定のために、脱水機の運転時間を一定に保ち、減量を目指す。排水設備の点検を繰り返し、安定稼働と減量を目指す。（汚泥） ・引き続き設備改善及び設備更新による工程ロス削減。ライントラブル防止対策の実施。教育を繰り返し行い、従業員の力量を上げ、人的ミスをゼロにする。（動植物性残渣、廃プラスチック類） 					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	153.6	580.7	77.3	50.1	1.8
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—
	再生利用業者への処理委託量	153.6	573.7	69.5	50.1	0.1
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	7	—	—	—
	(これまでに実施した取組) ・静岡県産廃協会や弊社グループ（本社・他工場等）の情報を参考に、より高度なりサイクル処理が可能な産廃処理業者を選定している。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残さ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	153.0	580.0	70.0	48.0	1.6
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—
	再生利用業者への処理委託量	153.0	580.0	65.0	48.0	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組) ・静岡県産廃協会や弊社グループ（本社・他工場等）の情報を参考に、より高度なりサイクル処理が可能な産廃処理業者を選定する。 ・定期的に委託処理業者の処理状況の現地確認を確実に実施し、適正処理が行われているか確認する。					